

西参道公衆トイレ



外観

デザインのコンセプトは「器・泉(うつわいずみ)」。中央が大きく凹んだ形状は、手洗い場をひとつの形に内包したもので、公衆トイレは都市の中の水場、街の泉と捉え、公共の水場としての手洗い空間を提案している。



外観(夜景)

5つの水栓金具が設置された手洗い場の一部は、足元に照明があるくぼみの空間があり、車いす使用者がアプローチしやすいように配慮されている。

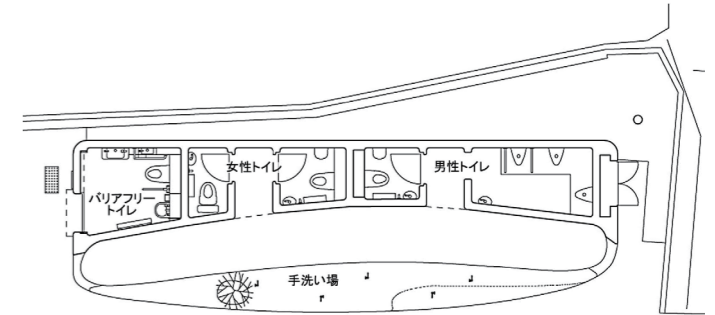


通路

トイレへの通路は南北の2方向に通り抜けられる。夜間は、通路の照明に加えて、男女トイレからこぼれる光が明るく、安心して使用することができる。



図面



女性トイレ

入口は男女トイレともに、細部までアールで仕上げたシームレスなデザインで、歩道側に面しているため視認性がよい。



女性トイレ

女性トイレは、安全性やプライバシーに配慮した個室完結型を2室設置。排せつから手洗いまで一連の動作が個室で行える。また利用者の快適性に配慮し、すべての大便器にウォシュレットを設置している。



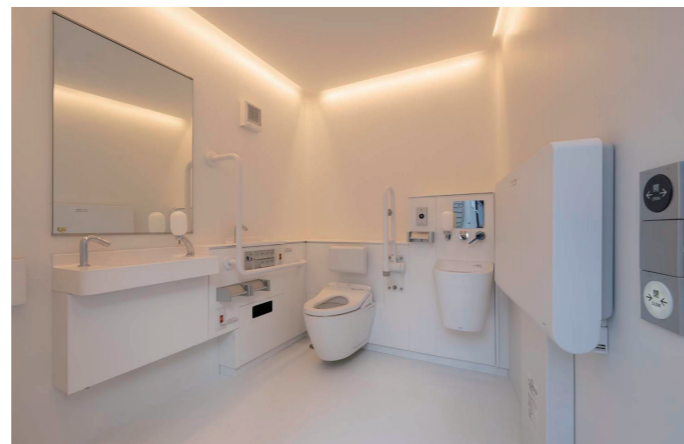
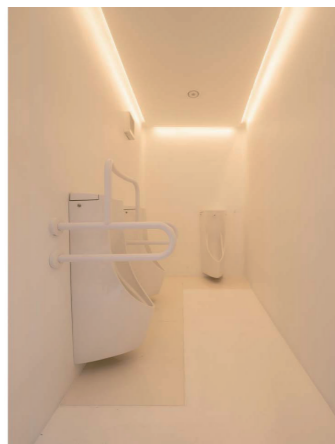
男性トイレ

大便器コーナーは女性トイレと同様に個室完結型で、大便器は壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置。乳幼児連れに配慮して、ベビーチェアも設置している。



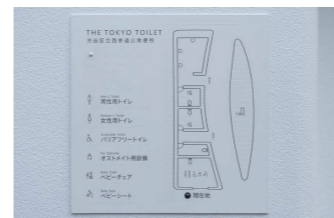
男性トイレ

小便器コーナーは、入ってすぐの場所に手洗器と鏡を設置。小便器は、床の清掃性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用している。



バリアフリートイレ

さまざまな利用者に対応したスペースを確保し、車いす使用者やオストメイトに必要な器具がパッケージされたコンパクトバリアフリートイレパックを設置。乳幼児連れにも配慮して、ベビーシートを設置している。



案内板・ピクトグラム

案内板でトイレの配置を確認できるようにしている。また、各空間の入口には、THE TOKYO TOILET(ザトウキョウトイレット)プロジェクト共通のピクトグラムを設置。



水まわりの特長

建物の特徴

日本財団が実施する、THE TOKYO TOILET(ザトウキョウトイレット)は、だれもが快適に使用できる公共トイレを設置するプロジェクト。そのひとつである「西参道公衆トイレ」は、甲州街道から参宮橋へ向かう西参道沿いに立地。デザインのコンセプトは「器・泉(うつわいずみ)」。中央が大きく凹んだ形状は、さまざまな高さの手洗い場をひとつの形に内包したもので、子どもからお年寄りまでが、この器を囲んで手を洗い、水をくみ、会話をして、小さなコミュニティが生まれるきっかけとなる。公衆トイレを都市の中の水場、街の泉と捉え、水を囲んで人々が集う場所として、公共の水場としての手洗い空間を提案している。

水まわりの特長

トイレは、手洗い場と平行に男性トイレ、女性トイレ、バリアフリートイレの3つの空間で構成。男性トイレの小便器コーナーは、入ってすぐの場所に手洗器と鏡を設置し、小便器は床の清掃性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。男女トイレともに大便器コーナーは、排せつから手洗いまで一連の動作が個室で行える個室完結型。利用者の快適性に配慮して、すべての大便器にウォシュレットを設置し、リモコンはボタンを押すたびに発電するエコリモコンを採用。バリアフリートイレは車いす使用者やオストメイトに必要な器具がパッケージされたコンパクトバリアフリートイレパックを設置。また乳幼児連れに配慮して、ベビーシートを設置している。

建築概要

名称	西参道公衆トイレ
所在地	東京都渋谷区代々木3-27-1
事業主体	日本財団
施主	一般財団法人渋谷区観光協会
基本設計	藤本壮介建築設計事務所
実施設計	大和ハウス工業株式会社
施工	大和ハウス工業株式会社
竣工年月	2023年3月
建築面積	19.24㎡
延床面積	19.24㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、地上1階
おもなTOTO使用機器	
パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BLC	
壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CS1	
ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPN	
自動洗浄小便器:UFS900JS/壁掛手洗器:LSE90BBSZ	
コンパクトバリアフリートイレパック:UADAK21L1A1ASN2WA	
ベビーシート:YKA25S/ベビーチェア:YKA15S	